



平成30年10月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年6月6日

上場会社名 株式会社くらコーポレーション
 コード番号 2695 URL <http://www.kura-corporo.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長 (氏名) 津田 京一

TEL 072-493-6189

四半期報告書提出予定日 平成30年6月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年10月期第2四半期の連結業績(平成29年11月1日～平成30年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年10月期第2四半期	65,236	8.5	3,777	21.7	4,203	14.3	2,683	7.3
29年10月期第2四半期	60,139	8.8	3,104	12.7	3,677	1.1	2,500	8.1

(注) 包括利益 30年10月期第2四半期 2,606百万円 (3.4%) 29年10月期第2四半期 2,698百万円 (20.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年10月期第2四半期	135.91	
29年10月期第2四半期	126.64	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年10月期第2四半期	55,943	36,738	65.5
29年10月期	52,745	34,724	65.7

(参考) 自己資本 30年10月期第2四半期 36,649百万円 29年10月期 34,635百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年10月期		0.00		30.00	30.00
30年10月期		0.00			
30年10月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年10月期の連結業績予想(平成29年11月1日～平成30年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	126,950	3.4	6,810	7.4	7,300	0.2	4,910	0.5	248.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年10月期2Q	20,699,800 株	29年10月期	20,699,800 株
期末自己株式数	30年10月期2Q	956,720 株	29年10月期	956,720 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年10月期2Q	19,743,080 株	29年10月期2Q	19,743,080 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提条件その他関連する事項につきましてはP3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成29年11月1日から平成30年4月30日)におけるわが国経済は、世界経済が好調なことから企業収益が伸び、緩やかな景気回復基調となりました。

雇用環境の改善により名目賃金の上昇がみられましたが、エネルギーや野菜価格などの上昇に吸収され、実質可処分所得は横ばいとなり、個人消費は盛り上がりには欠けた推移となりました。

外食産業におきましては、競合他社の積極的な出店による影響や、労働需給ひっ迫に伴う人件費の上昇に加え、中食・総菜市場の伸長もあり、引き続き厳しい環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは『食の戦前回帰』を企業理念とし、添加物を含まない、素材そのものの味わいを求め、「食」が安心・安全だった戦前のバランスの取れた健康的な食生活を取り戻すという理念のもと、創業以来全食材から『四大添加物(化学調味料・人工甘味料・合成着色料・人工保存料)』を完全に排除した商品を開発・提供してまいりました。お子様にも安心な自然でやさしい味わいと、多くのお客様からご好評をいただき、当社の考える本当の「安心・安全」な商品の提供にこだわりをもち続けております。このような取り組みは大手回転寿司業界におきまして当社グループ独自の付加価値提案であり、『無添(むてん)くら寿司』のブランド構築に繋がるものと考えております。

当第2四半期連結累計期間におきましても、お客様の満足度を高めるべくさまざまな商品提案を行いました。

平成30年3月、くら寿司初の“洋食メニュー”として、新感覚イタリアン「カルボナーラスパラッティ(税抜370円)」と「イタリアンチーズハンバーグ(税抜250円)」を新発売いたしました。「カルボナーラスパラッティ」は3種のチーズに7つの魚介出汁を加えた商品で、濃厚ながらも後味がさっぱりとしておいしいと、お客様からご好評をいただいております。

販売促進面におきましては、平成30年2月に「極上かにとふぐフェア」、3月に「熟成まぐろvs黒毛和牛フェア」、4月には「とろvsのどぐろフェア」を実施いたしました。また、フェアに合わせて人気アニメ「名探偵コナン」などのグッズが当たるキャンペーンを実施いたしました。

店舗開発につきましては、国内において、西日本地区で5店舗、東日本地区で1店舗の計6店舗を新規出店いたしました。米国子会社「Kura Sushi USA, Inc.」におきましては、当第2四半期連結会計期間末15店舗を運営しております。平成30年1月にテキサス州5店舗目となる「シュガーランド店」を出店いたしました。台湾子会社「台湾国際藏寿司股份有限公司」におきましては、「中壠大江店」「新竹經國路店」の2店舗をオープンし、当第2四半期連結会計期間末11店舗を運営しております。

当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、全て直営で437店舗(「無添蔵」4店舗、「くら天然魚市場」1店舗、米国15店舗、台湾11店舗を含む)となりました。

当第2四半期連結累計期間におきましても、厨房設備の効率化や店舗の改装・設備更新など競争力強化のための投資を行いました。今後も引き続き良好な財務内容を背景として、快適な飲食環境を提供するため、国内外におきまして戦略的な投資を実行してまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は652億36百万円(前年同期比8.5%増)、営業利益37億77百万円(同21.7%増)、経常利益42億3百万円(同14.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は26億83百万円(同7.3%増)となりました。

なお、当社グループは飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は、559億43百万円となり、前連結会計年度末と比較して31億97百万円の増加となりました。これは、主に現金及び預金が21億42百万円、原材料及び貯蔵品が2億32百万円、有形固定資産が3億2百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して11億84百万円増加し、192億5百万円となりました。これは、主に買掛金が6億6百万円、未払金が2億68百万円、未払法人税等が3億81百万円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、利益剰余金が20億91百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して20億13百万円増加し、367億38百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが53億86百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが18億69百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが13億93百万円の支出となりました。この結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)残高は、期首より21億42百万円増加し、149億82百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は53億86百万円(前年同期比50.6%増)となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益が40億64百万円となり、減価償却費が18億48百万円あった一方で、法人税等の支払が9億75百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は18億69百万円(前年同期比27.6%減)となりました。これは有形固定資産の取得による支出が15億61百万円、貸付けによる支出が2億11百万円、差入保証金の差入による支出が1億26百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は13億93百万円(前年同期比22.5%増)となりました。これは、リース債務の返済による支出が8億3百万円、配当金の支払が5億90百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月13日に公表いたしました業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,840,437	14,982,826
売掛金	796,389	1,004,259
原材料及び貯蔵品	722,181	954,361
その他	1,312,854	1,577,173
流動資産合計	15,671,862	18,518,620
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	17,048,329	17,060,208
その他(純額)	10,111,888	10,402,755
有形固定資産合計	27,160,217	27,462,963
無形固定資産	355,261	386,451
投資その他の資産		
長期貸付金	3,752,420	3,778,356
差入保証金	4,352,538	4,411,441
その他	1,453,087	1,385,376
投資その他の資産合計	9,558,046	9,575,174
固定資産合計	37,073,525	37,424,590
資産合計	52,745,387	55,943,211
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,536,461	5,142,519
短期借入金	117,344	115,543
未払金	4,308,638	4,577,280
未払法人税等	1,261,678	1,642,927
その他	2,652,779	2,647,577
流動負債合計	12,876,901	14,125,848
固定負債		
リース債務	2,998,397	2,912,626
資産除去債務	1,608,083	1,649,046
その他	537,006	517,585
固定負債合計	5,143,486	5,079,257
負債合計	18,020,388	19,205,105
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,005,329	2,005,329
資本剰余金	2,334,384	2,334,384
利益剰余金	32,543,626	34,634,648
自己株式	△2,353,421	△2,353,421
株主資本合計	34,529,918	36,620,940
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	105,551	28,647
その他の包括利益累計額合計	105,551	28,647
新株予約権	89,529	88,517
純資産合計	34,724,998	36,738,105
負債純資産合計	52,745,387	55,943,211

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年4月30日)
売上高	60,139,700	65,236,462
売上原価	27,591,423	29,704,495
売上総利益	32,548,277	35,531,966
販売費及び一般管理費	29,443,690	31,754,346
営業利益	3,104,586	3,777,620
営業外収益		
受取利息	31,643	30,785
受取手数料	183,618	205,525
為替差益	337,794	43,780
物販収入	37,028	81,540
収用補償金	—	114,584
雑収入	30,473	29,656
営業外収益合計	620,559	505,872
営業外費用		
支払利息	24,980	32,152
物販原価	16,120	40,327
雑損失	6,350	7,084
営業外費用合計	47,450	79,564
経常利益	3,677,695	4,203,928
特別損失		
固定資産除却損	28,349	27,785
店舗閉鎖損失	—	17,383
減損損失	—	94,593
特別損失合計	28,349	139,762
税金等調整前四半期純利益	3,649,346	4,064,165
法人税、住民税及び事業税	1,123,000	1,367,045
法人税等調整額	26,042	13,805
法人税等合計	1,149,042	1,380,850
四半期純利益	2,500,303	2,683,314
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,500,303	2,683,314

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年4月30日)
四半期純利益	2,500,303	2,683,314
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	198,022	△76,903
その他の包括利益合計	198,022	△76,903
四半期包括利益	2,698,325	2,606,410
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,698,325	2,606,410
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,649,346	4,064,165
減価償却費	1,703,597	1,848,861
減損損失	—	94,593
受取利息	△31,643	△30,785
支払利息	24,980	32,152
たな卸資産の増減額(△は増加)	△108,349	△234,120
売上債権の増減額(△は増加)	△684,981	△209,553
仕入債務の増減額(△は減少)	209,391	612,418
未払消費税等の増減額(△は減少)	△26,751	△23,093
その他	63,750	234,782
小計	4,799,338	6,389,421
利息の受取額	3,105	3,990
利息の支払額	△22,695	△32,152
法人税等の支払額	△1,202,355	△975,183
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,577,392	5,386,075
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,168,089	△1,561,452
無形固定資産の取得による支出	△54,514	△54,288
貸付けによる支出	△254,367	△211,954
差入保証金の差入による支出	△81,848	△126,737
差入保証金の回収による収入	67,544	68,515
その他	△91,515	16,810
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,582,790	△1,869,107
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△743,254	△803,446
配当金の支払額	△394,487	△590,052
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,137,742	△1,393,498
現金及び現金同等物に係る換算差額	415,852	18,919
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	272,711	2,142,389
現金及び現金同等物の期首残高	10,293,320	12,840,437
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	556,975	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,123,006	14,982,826

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。